

# 国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育の推進

平成24年度予算額: 15百万円

## 趣旨

国際バカロレア※のカリキュラムは、学習指導要領が目指す「生きる力」の育成や新成長戦略が掲げる課題発見・解決能力や論理的思考力、コミュニケーション能力等重要能力・スキルの確実な習得に資するものである。

このため、国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラム等に関する調査研究等を行うことにより、我が国における国際バカロレア資格の認知度の向上、裾野の拡大を行い、グローバル人材の育成や将来の認定校の増加につなげることとする。

※年齢に応じ、PYP(3～12歳)、MYP(11～16歳)、DP(16～19歳)の3つのプログラムがあり、DP資格取得のための統一試験に合格することで、国際的に認められている大学入学資格の1つである国際バカロレア資格を取得することができる。国際バカロレア機構により、認定校における共通のカリキュラムの作成、国際バカロレア試験の実施、国際バカロレア資格の授与などが行われる。

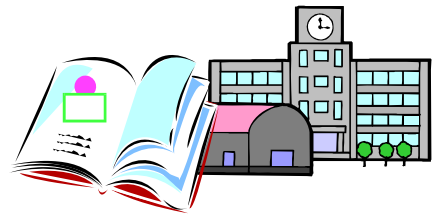
## 施策内容

### ◆ 国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラム等に関する調査研究

国際バカロレアの理念を生かしたカリキュラムづくりを行う学校を指定し、国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラムや指導方法、評価方法等に関する調査研究を行う。平成24年度は、国際バカロレアに関する情報収集を行い、文部科学省において研究課題を設定した上で、指定校における調査研究に着手する。

<研究内容> DP等に関する調査研究

<指定校数> 5校程度 <指定期間> 3年間



## 参考

<グローバル人材育成推進会議中間まとめ>(平成23年6月22日)

3. 高校留学の促進等の初等中等教育の諸課題について

☆高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる。

<日本再生のための戦略に向けて>(平成23年8月5日閣議決定)成長戦略実行計画(改訂工程表)

VI. 雇用・人材 3. 国と未来を開く基礎となる初等中等教育

・国際バカロレア資格取得可能校等の拡大